



売上の激減など、厳しい環境が続いています。「店を続けられるだろうか」といった不安の声も聞かれます。負けるもんか！市内観光拠点の皆さんと連携し、学びあうことで新型コロナ対策を強化するとともに、販路を開拓する事業がスタートしました。

# さあ出かけよう、商店街へ 富士宮商連ニュース

不定期 第1号

《発行》

富士宮市豊町 18-5

富士宮商店街連盟

会長 増田恭子

0544-26-3101

参加者を募集します  
何とか販売する機会を作りたい、商店街に来てもらうことはできないか……  
小売業の原点は「行商」。お客様のところへ出かけて売る、商店街やお店を宣伝する取り組みです。

第1弾は、富士宮市内の観光拠点3か所をまわり、わが町富士宮のすばらしさを再発見する旅です。お互いが販売しあい宣伝しあう可能性も探り始めています。

わがまち富士宮の魅力再発見の取り組みにもつながります。  
参加者を募集しています。毎回テーマを用意して進めますので、途中からの参加、1回きりの参加も可能です。ぜひ、ご参加ください。皆様からの情報やご意見もお寄せください。

月日・時	会場	内容説明
10/4・日	現地	観光拠点視察
10/16・金 13:30	富士急ホテル1F	あさぎりフードパークさんと私たちとの意見交換会
10/27・火 10:30	現地	あさぎりフードパーク広場で拡大版の出張商店街。大募集！
11/16・月 13:30	富士急ホテル1F	ふもとっぱらさんと私たちとの意見交換会
令和3年 1/19・火 13:30	きらら1会議室	まちなかの魅力再発見まち歩き。商店街やその周辺を視察した後検討会を開きます。
2/18・木 13:30	きらら6会議室	コロナ対策強化、観光拠点との連携、今後の取り組みを検討



竹川代表取締役

明してもらい  
ました。「みん  
ながこの食堂  
に求めている  
のは一流の料

入口はドライブスルーみたいにして体温測定。バスで入った私たちも全員体温検査を受けました。ネットでの完全予約制。訪れた日曜日にテントを張る県外ナンバーの自動車が数珠つなぎ。広大な原っぱに見渡す限りのテント。  
東京農大が使っていた倉庫が大きな食堂に。そこで竹川代表取締役(写真)に説

キャンプの聖地  
ふもとつばら

富士山と自然があるからみんなが来てくれる



富士山の味の散歩道  
あさぎり  
フードパーク  
5つの食の工房と  
地元食材レストラン



6社の協同組合がつくった食の工業団地で、富士宮市が進めるフードバレー推進の1つです。それぞれ体験教室も用意

理ではなく地元の食材を使った普段食べている料理。また来てもらうには魅力がないとダメ。何も無い原っぱ、林業が背景にある、大自然がある。「スタッフ20数名。人材育成が大切。人がこのキャンプ場のブランドになる。」など、取り組みの熱意が伝わるお話でした。富士麓金山もあり、活用を考えているそうです。

「夜はテントで寝るが、昼間は出かける人も多い、近くにお店がないので準備してきてくださいの呼びかけをしている」など、商店街で取り組みそうなヒントもたくさんありました。(ふもとつばらさんとの意見交換会を11月16日13:30富士急ホテル1階)参加自由ですが事前にご連絡ください。

されています。

「当初工場だけだったが、お願いして売店もできることになった。どうなるか不安もあったが、今はにぎわっている。」と望月代表理事から説明を受けた後、遠藤事務局長も加わっていただき、2班に分かれ各工房を視察しました。

「牛乳工房朝霧乳業」ではガラス張りの製造工程の見学や牛乳へのこだわりなどじっくり聞かせていただきました。

「お茶工房富士園」では、土づくりが始まる自社茶園のお茶の製造・直販で、詳しい説明や試飲もありました。

## 富士宮再発見の旅!? 参加者

商店街	13人
観光ガイドボランティア	4人
富士宮市商工振興課	2人
富士宮商工会議所	1人
中小企業団体中央会	1人
富士宮商店街連盟	1人
合計	22人

「菓子工房上野製菓」は、地元食材と富士山の湧水が自慢です。工場はガラス張りでありました。羊羹や大福、饅頭などの製造の説明がありました。

「いも工房かくたに」は、富士山の火山灰で育ったさつまいもの切り干しや芋け



望月代表理事

10月4日(日)  
大型バスに定員の半数が乗車。3拠点をめぐりました

白糸ノ滝の売店が「白糸ノ滝テラス」として整備され大きく変わりました。今月号の市広報で取り上げられています。GOTOトラベルの影響で観光客も多く、



んびがメインですがお客様がいっぱい店内での説明は無理でした。

「酒蔵・富士正酒造」は、富士山の湧き水を使った日本酒、焼酎、リキュールの製造販売で、入口の消毒液も日本酒でした。酒蔵も見学できるとのこと。店内で詳しい説明をお聞きしました。

「ビュッフェレストランふじさん」は、

富士宮の地元食材を楽しめるバイキングで、このパークの売りの一つです。94席満席。外のテラスも一杯でした。予約すればよかったです……。

地元商店街の視察は初めて。「地元に見て欲しかった」と、みなさん懸命の説明をしてくださいました。(10月16日13:30 富士急ホテル1階で話し合い)

焼きそばや朝霧のソフトクリームを楽しんでいました。

今回4名の観光ガイドボランティアさんも参加。4班に分かれて白糸ノ滝観光です。ガイドさんにとっては地元富士宮の皆さんへの案内はめったにないこと。「緊張するなあ」。

「滝を表すときは白糸『の』滝、一帯を表すときは白糸『ノ』滝」「修行僧の滝だから自然遺産ではなく文化遺産」など、盛りだくさんでした。

コロナ対策は各店さまざまですが、従来通りのやや不安な状態もありました。

## 出張商店街 in あさぎりフードパーク

10/27(火) 10:30~14:30

16店が出店!  
(雨天中止)

当日は、北部地区⇄あさぎりフードパークの無料

送迎バスで地元の皆さんを迎えます。フードパーク

で遊ぶ皆さんもお客様です。子育て支援団体からの参加も予定しています。ぜひ「行商」に出かけましょう。

★次回以降で「出張商店街」参加希望の方は、

フジサンマルマルシェ(0544-29-7106)にお問い合わせ下さい。

### GoTo 商店街の 募集が始まりました。

コロナ対策をしっかりとやることを条件に補助対象費用は全額補助されます。

1 商店街上限:300万円 下限なし

《先行募集》 予算:全体の3割程度

1次締切:10/9

2次締切:10/19

3次締切:10/30

《通常募集》 予算:全体の7割程度

募集:10/30~(予定)

※令和3年2/14までに事業を終了すること

※立替払いの後、補助金請求になる。

ほとんどの取り組みが補助対象になります。

詳しくは、なんでも相談係:

中島まで。090-7953-2019

### 持続化給付金の申請は

#### 終わっていますか?

持続化給付金は

今年の1~12月どこかのひと月の売上高が昨年同月と比べて半分以下の場合に申請できます。

給付金は

法人:最高200万円

個人:最高100万円

(例)

- ・ 昨年の5月売上高:30万円
- ・ 昨年1年間の売上高:360万円
- ・ 今年の5月の売上高:10万円

給付金額の計算

360万円 - (10万円 × 12) = 240万円

給付額は法人200万円、個人100万円

※確定申告をしていない場合など特例があります。

詳しくは、なんでも相談係:中島まで。

090-7953-2019